

⑦図書館と連携をとっている関係団体・NPO団体

<鎌倉朗読・録音奉仕会>

視覚障がい者への貸出用録音テープ図書等音声化資料の製作や対面朗読等のプライベートサービスを行っています。

<鎌倉市点訳赤十字奉仕団>

図書館のCDに付ける点字や録音図書目録の点字版の作成を行っています。

<くりんどう>

16ミリ映写機の操作方法や、ビデオ撮影と編集技術向上のための研修を行っています。また、16ミリ映写会開催に関する相談と映写ボランティア派遣を行っています。

<鎌倉視聴覚協会>

視聴覚機材を利用し地域社会に貢献すること、会員相互の親睦と技術の向上をはかること、映画の良さを知ってもらうことを目的としている団体です。16ミリ映写機操作認定講習会を図書館と共催で実施したり、市内老人ホーム、市立小学校「こどもの家」への出前映画会等を行ったりしています。

<図書館とともだち・鎌倉>

平成10年発足、鎌倉市図書館の応援団として活動。大人を対象とした講演会等を開催。平成20年度から22年度までと、平成29年度に図書館と市民協働事業で図書館振興に取り組む活動も行いました。

<CPCの会>「湘南・鎌倉生涯現役の会」部会

写真(photograph)を通して、地域社会(community)に貢献(contribution)しようと活動している会です。近代史資料収集室の古写真の収集・整理、写真展の開催などに協力しています。平成16年度から「鎌倉の谷戸の現状撮影と調査」活動をはじめました。平成20年度に『鎌倉谷戸の記録』(上・下)、令和元年度に『鎌倉谷戸の記録・続』(上：大船・玉縄編・下：深沢・腰越編)を発行しました。現在は、市内にある庚申塔の再調査を行っています。

<鎌倉アカデミアを伝える会>

鎌倉アカデミア創立60周年記念祭実行委員会が、平成18年5月に集いを開催した後、「鎌倉アカデミアを伝える会」と会の名称を変更。鎌倉アカデミアに関する資料保存やシンポジウムの開催等を行っています。平成28年は鎌倉アカデミア創立70周年にあたり、市内各所で講演・芝居・展示などで「アカデミアYEAR2016年」を祝いました。

<郷土史料を読む会>

近世文書の解読、整理をし、女性の大正・昭和の日記を読み解いています。現在、大船大津家文書を読んでいます。

<玉縄古文書の会>

玉縄を中心とした地域の古文書資料を読みながら、郷土史を勉強しています。平成16年度に『東海道藤沢宿助郷会所日記 天保二年卯年』、平成21年度に『天保九年・嘉永元年・安政五年御用留』、平成22年度に『文久二年・文久三年御用留』を刊行しました。

現在、大船大津家文書を読んでいます。

< 蟲の会 >

近世、近代資料の解説、整理をしています。御用留、鎌倉在住だった数学者坂井氏の書簡の整理を行っています。

< 鎌倉の別荘地時代研究会 >

平成23年から活動開始。鎌倉を中心とした近代の別荘地を研究。講演会や展示会を行っています。

< NPO「かまくら女性史の会」 >

平成25年3月に「アンサンブル21女性史編さん部会」が終了解散。平成25年4月以降、標記団体として活動しています。「日本バレエの母」パブロバ姉妹が残した文書（鎌倉市所有）のデジタル化作業、老人福祉センターでの朗読会、近世文書の学習などを行い、毎月Newsletterを発行しています。

< 珈琲野郎 >

平成23年より図書館で「ファンタスティック☆カフェ」を出張開店。男性バリスタグループ。福祉施設等への喫茶サービスを行っています。

< 本の修理ボランティア >

平成24年度から始まった「本の修理講座」の受講者が引き続き、研修を重ねながら活動しています。破れやページはずれ、書き込み等のある図書館の本の修理を行っています。

< 松坡文庫研究会 >

平成30年（2018年）8月発会。教育家として明治末に第二開成、鎌倉女学校を創設し校長となり、漢詩人としても世に知られる田辺新之助（号：松坡）の研究会。現在は、遺族から寄贈された鎌倉市中央図書館所蔵の資料の整理研究を行っています。